

基本目標	基本方針	施策	取組	担当課		
1 安心して暮らせるまち	1 コミュニケーション支援	1 生活に必要な情報の多言語対応	広報誌の多言語対応等の充実	広報広聴課 市民協働推進課		
			SNSを活用した生活情報の提供	広報広聴課 市民協働推進課		
			通訳サービスの提供	市民協働推進課		
			ICTを活用した翻訳サービスの提供	市民協働推進課		
			多言語・やさしい日本語のためのガイドライン作成	市民協働推進課		
			日本語ボランティアへの支援	市民協働推進課、AGA		
		2 日本語学習の機会提供	日本語教室の充実	市民協働推進課、AGA 生涯学習課		
			日本語教室の効果的な周知	市民協働推進課		
			外国人市民向け相談窓口の充実	市民協働推進課		
		3 相談体制の充実	外国人市民に対応できる職員の育成	職員課 市民協働推進課		
			新たな相談手法の検討	市民協働推進課		
			「取り出し指導」の充実	学務課		
	2 生活支援	1 子どもが安心して教育を受ける環境整備	進学に向けた進路指導	指導課		
			乳幼児等の育成支援	保育課 青少年課		
			国際理解教育の指導方法に係る研修の充実	指導課		
			学習支援活動、日本語補習の実施	市民協働推進課、聖学院大学、AGA		
			子育て情報の多言語化	子ども支援課 子ども家庭総合支援センター		
			健康増進課	健康増進課		
		2 医療・保険・子育てにかかる環境整備	感染症流行時における多言語での情報提供	健康増進課		
			国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療の多言語等対応の充実	保険年金課		
			多言語対応可能な医療機関の情報提供	健康増進課 市民協働推進課		
			介護保険制度の多言語等対応の充実	高齢介護課		
			暮らしに関する図書資料の充実	図書館		
			転入時における多言語化した生活情報の提供	市民協働推進課		
		3 日常生活にかかる環境整備	外国人市民のための勉強会の実施	市民協働推進課、AGA		
			「埼玉県多文化共生キーパーソン」制度の活用	市民協働推進課		
			子ども向け事業の開催	生涯学習課 AGA		
			外国人市民向けごみの出し方の周知	生活環境課 西貝塚環境センター		
			多文化情報コーナーの設置	市民協働推進課		
			3 災害への備え	1 災害時等における情報伝達手段・支援体制の整備	避難所における多言語・やさしい日本語による情報提供	危機管理防災課 市民協働推進課
					外国人市民からの救急・消防通報への対応力の向上	指令課
					災害・防災情報の多言語・やさしい日本語での提供	危機管理防災課 市民協働推進課
					多言語支援センター運営訓練の実施	危機管理防災課 市民協働推進課
					指定避難所標識のピクトグラム対応	危機管理防災課
					避難所における外国人市民の支援マニュアルの作成	危機管理防災課 市民協働推進課
					外国人市民による災害時の支援活動	危機管理防災課 市民協働推進課、聖学院大学
	「防災ガイドブック」及び「水害ハザードマップ」の多言語化	危機管理防災課 市民協働推進課				
	2 防災意識の啓発	外国人市民向け防災事業の実施		危機管理防災課 市民協働推進課		
		防災訓練への外国人市民の参加促進		危機管理防災課 市民協働推進課		

2 活躍できるまち	1 地域経済の担い手	1 事業者への支援の充実	セミナーの開催や情報提供	商工課
			経営に関する相談対応	商工課
			介護事業所への支援	高齢介護課
		2 就労支援の充実	国や県等と連携した情報提供	市民協働推進課 商工課
	就労に関する相談対応及び関係機関との連携		商工課	
	2 地域コミュニティの担い手	1 地域の担い手である外国人市民の活躍の促進	自治会・PTAへの外国人市民の加入と定着の促進	市民協働推進課
外国人市民キーパーソンの発掘			市民協働推進課、AGA	
3 多文化共生の担い手	1 多文化共生の担い手への支援と養成	上尾市国際交流協会（AGA）への支援	市民協働推進課	
		各種ボランティアの新規登録の促進・養成及び連携	市民協働推進課	
3 助け合い、発展するまち	1 意識啓発	1 多文化共生についての意識啓発	小・中学校での国際理解教育に関する授業の充実	市民協働推進課 指導課
			海外ボランティアとの情報共有	市民協働推進課
			「あげおヒューマンライツミーティング21」の開催	人権男女共同参画課 AGA
			多文化共生に関する情報の提供	人権男女共同参画課
			多文化共生に関する出前講座の実施	商工課
			活躍する外国人市民のPR	市民協働推進課
				市民協働推進課
	2 交流の促進	1 交流機会の提供	各種講座の開催	市民協働推進課、AGA 生涯学習課
			ALTの活用	指導課
			中学生海外派遣研修の実施	指導課
			「あげおワールドフェア」の充実	市民協働推進課、AGA
			ホームステイ受入事業の実施	市民協働推進課
		SNSを活用した新たな交流の検討	市民協働推進課	
	3 地域活性化の推進	1 外国人による本市のPR	SNSを活用した魅力の発信	広報広聴課 市民協働推進課、AGA
ALTによる魅力の発信			指導課	

基本目標	基本方針	施策	指標名	現状値	令和8年度目標	担当課	令和4年度実績値	評価	令和4年度取組状況 ※評価が「遅れ」の場合は、その理由	令和5年度目標	
1	1	1	通訳サービスの提供件数	35件 (R2)	70件※1	市民協働推進課	90件	順調	電話通訳の利用件数が増加し、目標値を上回る結果となった。	93件	
		2	日本語教室の参加者数	1,138人 (H31)	1,138人	市民協働推進課、AGA 生涯学習課	938人 196人	順調 順調	新型コロナウイルスの影響でオンラインのみの開催期間があるなど、教室の開催方法に制限があったため。 原市民館で、日本語を学びたい外国籍市民に対し、ボランティアサークルによる日本語教室を開催しました。	1,000人 200人	
		3	外国人市民向け相談窓口のオンライン相談件数	—	10件	市民協働推進課	0件	遅れ	オンライン相談の開催方法などを検討するとどまり、実施には至らなかったため。	2件	
	2	1	AGA子ども教室参加者数	103人 (H31)	160人	市民協働推進課、AGA	12人	遅れ	新型コロナウイルスの影響などで中止になった期間があったため。	—※2	
		2	外国人市民アンケートで医療についての心配と困りごとが「ある」と回答した割合	43.3% (R2)	40%	市民協働推進課	/	/	5年に1度実施するアンケートのため、令和4年度の数値はなし。	/	
		3	外国人市民のための勉強会に参加した人の満足度	—	80%	市民協働推進課、AGA	—	—	勉強会の際にアンケートを実施しなかったため、数値なし。口頭で伺った感想では、好評であった。	80%	
	3	1	災害時の外国人多言語支援センター運営訓練に参加した人数	17人 (R2)	30人	市民協働推進課	15人	遅れ	新型コロナウイルスの影響で本来予定していた時期に実施ができなかったため。	20人	
		2	外国人市民が参加した市が主催する防災訓練数	—	1回	危機管理防災課 市民協働推進課	1回 1回	順調 順調	令和4年度上尾市災害対策本部訓練（令和5年2月18日開催）において、中央小学校で避難所開設訓練と要配慮者関連訓練（聴覚障害者・視覚障害者・外国人）同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にもご参加いただいた。 避難所開設訓練における避難者役として外国人市民4名の参加があった。また、令和5年度以降の開催に向け、外国人市民のニーズなど聞き取りを行った。	1回 1回	
	2	1	1	技能実習生の居住支援を行った介護事業所数	0か所 (R3)	3か所	高齢介護課	1か所	順調	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等の貸付支援を行った。	3か所
			2	外国人市民アンケートで「市から欲しい支援」について「就職活動のための相談窓口」と回答した割合	23.8% (R2)	20%	市民協働推進課	/	/	5年に1度実施するアンケートのため、令和4年度の数値はなし。	/
2		1	自治会の役員（班長以上）に外国人市民がいる自治会数	11団体 (R2)	16団体	市民協働推進課	11団体	遅れ	班長以上の役人に就いた外国人市民は13名、11団体で令和3年度より2団体減少した。	13団体	
3	1	通訳・翻訳ボランティアの登録者数	29人 (R2)	40人	市民協働推進課	37人	順調	県主催の講習会等でボランティア制度の周知を行い、6名が新規で登録した。	39人		
3	1	1	日本人市民アンケートで外国人市民が増加することが「好ましくない」と答える日本人市民の割合	20% (R2)	15%	市民協働推進課	/	/	5年に1度実施するアンケートのため、令和4年度の数値はなし。	/	
	2	1	「あげおワールドフェア」の来場者数	3,000人 (H31)	3,500人	市民協働推進課、AGA	1,500人	遅れ	新型コロナウイルスの影響による3年ぶりの開催であり、参加国が少なかったため。	2,000人	
	3	1	外国人市民によるSNSでの発信件数	—	80件	市民協働推進課、AGA	0件	遅れ	ハッシュタグの周知をあげおワールドフェアで行わず、周知が足りなかったため。	20件	

※1 目標値をすでに達成しており、目標値を見直す必要があるもの

基本目標No.	基本方針No.	施策No.	指標名	新目標値	新目標値の設定根拠
1	1	1	通訳サービスの提供件数	100件	電話通訳90件+ボランティア派遣10件

「順調」7件、「遅れ」6件、「評価なし」4件

●「評価なし」（斜線）は5年に1回実施するアンケートの数値をもとにしており、令和4年度は実施年でないため

※2 令和5年度中はAGA子ども教室再開に向けての調査・研究をするため、数値としての目標はなし

基本方針	施策	取組	内容	新規・継続区分	担当課	令和4年度実績、取組内容、課題	評価	令和5年度目標、方針
1 コミュニケーション 支援	1 生活に必要な情報の多言語対応	広報誌の多言語対応等の充実	ハイレイツ（「広報あけお」の内容を英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語に翻訳したコーナー）の掲載や視覚的に分かりやすい情報の提供を行います。	継続	広報広聴課 市民協働推進課	『広報あけお』の中で、「ハイレイツ」などの外国人向けに英語（英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語）で記事に掲載しています。また、外国人市民向けの記事に掲載する際は、ひらがなでしるべも、可能な限り図や写真を入れるなど視覚的に分かるよう配慮しています。 毎月、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語でハイレイツを掲載しました。	A 計画通り A 計画通り	今年度も同様の取り組みを継続しつつ、より分かりやすい方法を検討します。 引き続きハイレイツを通して、外国人市民への情報提供をしていきます。
		SNSを活用した生活情報の提供	SNSを積極的に活用した外国人市民向けの生活情報の提供方法を検討します。	継続	広報広聴課 市民協働推進課	市民、外国人市民に向けて、なるべく分かりやすい表現を使用してラインやツイッター、フェイスブック、メールアドレスなど様々な媒体で情報を発信しており、現状によつては、自動翻訳機能をご利用いただけます。また、市民協働推進課と協力して実施していくための調整を行いました。	B 概ね計画通り B 概ね計画通り	今後、市民協働推進課が外国人市民向けの情報発信をする際には、視察するための情報提供を密にしていきます。 令和5年度中に外国人市民向けの情報を発信するSNSアカウントを作成します。
		通訳サービスの提供	各所属（学校・保育所等を含む）において、ボランティアによる通訳サービス及び電話通訳サービスを提供します。	継続	市民協働推進課	令和4年度中に4件の通訳ボランティアの派遣および86件の電話通訳の利用がありました。	A 計画通り	引き続き依頼に応じてボランティアを派遣するとともに電話通訳サービスを提供します。
		ICTを活用した通訳サービスの提供	スマートフォン等のアプリをはじめ、ICTを積極的に活用した通訳サービスを提供します。	新規	市民協働推進課	依頼があった際に対して翻訳機（ポケット）の貸し出しを行いました。また、翻訳アプリ（ケーンズ）（VoiceTra）などICTを活用した通訳サービスの情報収集をしました。	B 概ね計画通り	引き続き翻訳機の貸し出しを行うとともに他の通訳サービスについても周知を図ります。
		多言語・やさしい日本語のためのガイドライン作成	行政文書や刊行物等の多言語・やさしい日本語対応を幅広く進めていくため、ガイドラインを作成します。	新規	市民協働推進課	他市町村のやさしい日本語のためのガイドラインを調査・研究し、上尾市で作成する場合の内容の検討を行いました。	B 概ね計画通り	今年度中の作成を目指し、内容を検討します。
		日本語ボランティアへの支援	研修の実施や国・県などからの情報提供等、日本語ボランティアへの支援を強化し、質の向上に努めます。	継続	市民協働推進課、AGA	国・県からの情報提供をするとともに上尾市国際交流協会主催の研修会開催における会場の手配の支援を行いました。	A 計画通り	引き続き日本語教室およびボランティアに関する情報の提供をはじめとする支援を行います。
	2 日本語学習の機会提供	日本語教室の充実	ニーズを踏まえた日本語学習環境の整備に努めます。	拡充	市民協働推進課、AGA 生涯学習課	オンライン教室の開催など、コロナの感染状況を踏まえた教室運営を行いました。 学習者196名、ボランティア217名、コロナ禍で学習回数が増えましたが、回数をコロナ前に戻し、学習者を呼び戻すことが必要となります。	A 計画通り B 概ね計画通り	引き続き学習者のニーズ等を踏まえた学習環境を整備していきます。 金曜日の夜間に開催していましたが、夜道が怖いなどの意見があり、2学期から土曜日の午後1時に教室の開催時間を変更し、広帯等により周知を図り、参加者数を増やしていきます。
		日本語教室の効果的な周知	SNS等を積極的に活用した日本語教室の周知を行います。	新規	市民協働推進課	AGAのSNSや広報あけお、ハローコーナーニュースで日本語教室開催の周知を行いました。	B 概ね計画通り	多様なSNSを利用した新たな周知方法についても検討していきます。
		外国人市民向け相談窓口の充実	引き続き、ハローコーナーを運営するとともに、相談対応可能な言語の拡充を検討します。	継続	市民協働推進課	英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の5言語で対応するとともに市民のニーズに合わせた相談体制について検討しました。	B 概ね計画通り	市内ベトナム人のニーズを踏まえ、相談方法を対面からメールに切り替えます。
	3 相談体制の充実	外国人市民に対応できる職員の育成	外国語で対応できる職員を把握し、協力体制を構築します。また、多言語・やさしい日本語での対応等の市内研修の実施や自主研修の支援を検討します。	拡充	職員課	「上尾市外国人市民サポート事業」として、外国語で対応できる職員を募り、協力職員名簿を作成しています。 令和4年度は、6名の職員から英語又は中国語による登録があり、協力体制を整備しています。 自主研修支援のため、語学の通信教育（英語、中国語、韓国語）に関する費用の助成制度を設けています。	A 計画通り	引き続き、外国語で対応できる職員を把握し、協力体制を構築するとともに、職員の育成を図ります。
		新たな相談手法の検討	他自治体の先行事例や相談者のニーズを踏まえ、オンライン相談などの新たな相談のあり方を検討します。	新規	市民協働推進課	東京出入国在留管理局主催の公的機関向けやさしい日本語に関する研修を参加し、のべ14名の参加がありました。また、全庁掲示板に研修動画を掲載し、研修に参加できなかった職員でも視聴できるよう対応しました。	A 計画通り B 概ね計画通り	引き続き国等が主催する研修の情報を共有し、職員の参加を呼びかけます。 市内ベトナム人のニーズを踏まえ、相談方法を対面からメールに切り替えます。

1	子どもが安心して教育を受ける環境整備	「取り出し指導」の充実	児童・生徒の個性を生かした効果的な指導方法を研究し、全ての対象者に日本遠征指導員を派遣します。	継続	学務課	申請児童・生徒43名全員に配置しました。	A 計画通り	申請児童・生徒全員へ配置します。
		進学に向けた進路指導	外国人市民向け高校進学ガイダンス事業の活用等、適切な進路指導を行います。	継続	指導課	県・県国際交流協会・県産業文化センター共催の外国人市民向け高校進学ガイダンス事業を紹介しています。	A 計画通り	取り組みを継続するとともに、積極的な情報の収集と発信を行います。
		乳幼児等の育成支援	保育所や放課後児童クラブでは、必要に応じてやさしい日本語やローマ字の使用に対応します。また、通訳ボランティアの活用を図ります。	継続	保育課	日本語の理解が難しい外国籍の保護者に対しては、各保育所等、お便り等にローマ字やひらがなで、ふりがなをつけたり、優しい日本語で話したり、状況に合わせて対応をしています。なお、令和4年度は小笠原保育所に音声翻訳機を導入し、私立保育施設には音声翻訳機の導入補助を実施しました。	A 計画通り	取り組みを継続し、多言語による対応や通訳者のより円滑な活用を図ります。
					青少年課	例年、学童保育所の新年会入所説明会において、要望に応じて通訳を派遣する体制を取っていましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、入所説明会を実施しませんでした。	B 概ね計画通り	要望に応じて多言語による対応や通訳ボランティア派遣の円滑な活用を図ります。
		国際理解教育の指導方法に係る研修の充実	国際理解教育の指導力向上を目指し、教員を対象としたALTとのチームティーチング（共同授業）や夏期研修を行います。	継続	指導課	国際理解教育の指導力向上を目指し、ALTとのチームティーチング（共同授業）や教師を対象とした夏期研修を行っています。【市・市教育研究会共催教員研修/年5回】	A 計画通り	研修内容を充実させ、さらなる指導力の向上を目指します。【市・市教育研究会共催教員研修/年5回以上】
		学習支援活動、日本語補習の実施	関係団体と連携し、就学後の外国人児童・生徒に対する学習補助を検討します。	新規	市民協働推進課、聖学院大学、AGA	会場手配および周知などAGA子ども教室の開催に関する支援を行いました。	B 概ね計画通り	対象者のニーズを調査する等、AGA子ども教室の開催方法および内容について再検討します。
2	医療・保険・子育てにかかる環境整備	子育て情報の多言語化	妊婦・出産・育児を行う外国人市民に対し、子育てに関する情報を多言語で提供します。	継続	子ども支援課	未就学児と保護者の交流の場の提供や、子育てに関する悩み相談を受け付ける子育て支援拠点を紹介する「親子が集える場」を案内するチラシの英語版を作成し、外国人市民に配布できるように整えています。	A 計画通り	未就学児と保護者の交流の場の提供や、子育てに関する悩み相談を受け付ける子育て支援拠点を紹介する「親子が集える場」を案内するチラシの英語版を作成し、外国人市民に配布できるように整えています。
					子ども家庭総合支援センター	・出産・子育てにおける伴走型支援のために、画面上で使用するアンケート内容を言語別に用意し対応を行いました。 ・ポテト（翻訳機）の活用をしました。 ・チラシ媒体を参考に、妊婦・出産後の手続きの流れの説明を行いました。	A 計画通り	引き続き、ポテトや作成済の媒体を活用し、丁寧な対応を行います。 ・外国の方が活用できる便利なツールのご案内をします。（スマホアプリなどを利用してもらうもの）
					健康増進課	外国版母子健康手帳（9言語）の交付や必要に応じ個別に対応しています。	B 概ね計画通り	引き続き必要に応じた対応を行います。
		感染症流行時における多言語での情報提供	感染症流行時には、ワクチン接種に関する情報を多言語化し、遅滞なく提供します。	継続	健康増進課	新型コロナワクチン接種におけるコールセンターは、英語・中国語・韓国語に対応しています。	B 概ね計画通り	新型コロナワクチン接種については、引き続きコールセンターで3か言語に対応します。
		国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療の多言語等対応の充実	国民健康保険や国民年金について多言語等に対応します。また、新たに後期高齢者医療についても対応を検討していきます。	拡充	保険年金課	国民年金は国で作成した外国人向けのパンフレットや、電話通訳サービスを活用しています。 国民健康保険はハローコーナ、電話通訳サービス、国民健康保険の日本語・英語版パンフレットを活用し対応しました。	B 概ね計画通り	チラシや窓口対応マニュアルの作成により、外国人市民がより理解しやすいよう個別対応を充実させます。
		多言語対応可能な医療機関の情報提供	多言語対応可能な医療機関の情報を必要に応じて提供します。	新規	健康増進課	必要に応じ、埼玉県の医療情報提供システム（5言語）を案内するなどの情報提供を行いました。	B 概ね計画通り	引き続き必要に応じた情報の提供を行います。
介護保険制度の多言語等対応の充実	介護保険制度について多言語等に対応します。	新規	高齢介護課	市民からの問い合わせなどに応じて、情報提供を行いました。	B 概ね計画通り	引き続き必要に応じた情報の提供を行います。		
3	日常生活にかかる環境整備	暮らしに関する図書資料の充実	外国語の資料や、外国語による日本紹介資料の収集・提供に努めます。	継続	図書館	外国語・外国語併記・日本について学ぶ本を収集し、多文化コーナーに陳列しました。英語以外の外国語の資料の充実が課題です。	B 概ね計画通り	市内在住の外国籍市民の割合に合わせ、英語以外の外国語の資料も収集するよう努めます。
		転入時における多言語化した生活情報の提供	転入した外国人市民に対し、多言語化した生活情報をまとめた「ウェルカムフォルダー」を配布します。	継続	市民協働推進課	英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の5言語で「ウェルカムフォルダー」を配布するとともに内容の見直しを行いました。	A 計画通り	引き続き転入者を対象に「ウェルカムフォルダー」を配布します。
		外国人市民のための勉強会の実施	日本の税金や年金制度等の講座を、やさしい日本語や通訳を介して実施します。	継続	市民協働推進課、AGA	2月に介護保険をテーマとした「外国人市民のための生活勉強会」を開催し、計20名の参加がありました。	A 計画通り	引き続き外国人市民を対象とした勉強会を開催します。
		「埼玉県多文化共生キーパーソン」制度の活用	「埼玉県多文化共生キーパーソン」制度を活用し、地域と連携を取りながら外国人市民の生活を支援します。	継続	市民協働推進課	外国人市民と関りのある市民4名を埼玉県多文化共生キーパーソンとして推薦するとともに適宜情報共有を行いました。	A 計画通り	引き続き埼玉県多文化共生キーパーソンと連携し、情報共有等を行います。
		子ども向け事業の開催	AGA主催の子ども向け企画（子ども教室、AGAサロン、あけおワールドフェア）、子ども向け体験教室を実施します。	継続	生涯学習課	夏休み等に、各公民館において小中学生を対象にした体験講座を実施しました。	C 要努力	市民協働推進課及びAGAと実施について調整を図ります。
					AGA	子ども教室6回、AGAサロン1回を実施しました。また12月に開催したあけおワールドフェアでは、キッズボートや英語に触れるブースなど子ども向けの催しを実施しました。	A 計画通り	引き続き子ども向け企画を実施することで、子どもの多文化共生の意識啓発に繋がります。
		外国人市民向けごみの出し方の周知	希望する市民に対してごみ集積所への多言語の看板を配布するほか、ごみの出し方を周知する取組を検討します。	新規	生活環境課、西貝環境センター	ごみの出し方を周知する取り組みは、4か言語に対応したごみ出しマニュアルを外国人市民の転入時に配布し、市ホームページにも掲載しています。また、ごみ分別アプリ「さんかある」も3か言語に対応しています。なお、ごみ集積所への多言語の看板は3年度まで作成し、配布方法は環境センターと生活環境課において協力しています。	A 計画通り	ごみの出し方を周知する取り組みについて継続するとともに、ごみ集積所への多言語の看板の作成について検討します。
		多文化情報コーナーの設置	多言語化された行政の各種資料・パンフレット等を自由に閲覧できるコーナーを設置します。	新規	市民協働推進課	国や県、他課が作成した多言語版の資料に関する情報を収集し、庁内ラックに設置しました。	B 概ね計画通り	引き続き情報収集を行い、資料の充実を目指します。

3 災害への備え	1 災害時における情報伝達手段・支援体制の整備	避難所における多言語・やさしい日本語による情報提供	避難所における多言語・やさしい日本語で対応します。	継続	危機管理防災課 市民協働推進課	全指定避難所に設置している防災倉庫内に「多言語表示シート」「コミュニケーション支援ボード」を備蓄しました。 災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、避難所において多言語・やさしい日本語に対応できるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り B 概ね計画通り	継続して備蓄してまいります。 引き続きボランティアの育成を図るとともに災害時多言語表示シート等のツールの活用を検討します。		
		外国人市民からの救急・消防通報への対応力の向上	三者同時通訳や翻訳アプリを活用し、外国人市民からの通報時や現場での対応力の向上に努めます。	新規	指令課	3件の三者同時通訳(多言語同時通訳)を実施しました。4月12日(ポルトガル語)12月11日及び1日(英語)多言語通訳業務の契約締結をしました。通信機器へ翻訳アプリのインストールをしました。	B 概ね計画通り	指令課員の11番入電時の対応力を向上します。(指令システム操作の習熟)		
		災害・防災情報の多言語・やさしい日本語での提供	国や県等から提供される災害関係の多言語化された情報を、迅速に外国人市民に提供します。	新規	危機管理防災課 市民協働推進課	内閣府消防庁が作成した「外国人への災害情報の発信について(15言語対応の密着資料)」を参考に効率的な情報提供手法について研究を行いました。 異国文化交流協会主催の災害時多言語情報センター運営訓練に参加し、災害時の情報共有方法等を確認しました。	B 概ね計画通り B 概ね計画通り	引き続き、効率的な情報提供方法について、市民協働推進課と連携して検討します。 引き続き県等と連携し、災害時に迅速に外国人市民に情報提供できる環境を整備します。		
		多言語支援センター運営訓練の実施	災害時の外国人市民支援を目的とした講習会と訓練を実施します。	新規	危機管理防災課 市民協働推進課	令和4年度上尾市災害対策本部訓練(令和5年2月18日開催)において、中央小学校で避難所開設訓練と要配慮者関連訓練(聴覚障害者・視覚障害者・外国人)同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。 7月に多文化共生ボランティア講習会、2月に災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、災害時に外国人市民を支えるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り A 計画通り	市民協働推進課と連携し、訓練を実施します。 引き続き講習会及び訓練を実施し、ボランティアの育成を図ります。		
		指定避難所標識のピクトグラム対応	外国人市民でも容易に理解できるよう、指定避難所標識にピクトグラムを表記します。	新規	危機管理防災課	指定緊急避難場所等に新たに設置した表示看板について、避難場所であることが分かるピクトグラムを表記しました。	A 計画通り	表示看板の新規設置、修繕の際にはピクトグラムを表記していきます。		
		避難所における外国人市民の支援マニュアルの作成	避難所等に避難した外国人市民に対し、適切な支援を行うためのマニュアルを作成します。	新規	危機管理防災課 市民協働推進課	全指定避難所に配備している避難所開設キットの手帳裏に記載のある「外国人への配慮」について、避難所班職員に周知しました。 災害時多言語支援センター運営訓練時に避難者役の外国人市民からどのような支援が必要か、現在の避難所運営の問題点などの聞き取りを行いました。	B 概ね計画通り C 要努力	避難所運営マニュアル・避難所開設キットの内容を精査するとともに、障害対応関係のマニュアルの作成を検討します。 聞き取った意見を踏まえ、今後避難所受付時に使用する外国人避難者用チェックリスト等の作成を検討します。		
		外国人市民による災害時の支援活動	日本の生活習慣や文化に理解が深い留学生をはじめとする外国人市民が、外国人被災者への通訳・翻訳支援等、避難所における支援活動で活躍できるよう検討します。	新規	危機管理防災課 市民協働推進課、聖学院大学	令和4年度上尾市災害対策本部訓練(令和5年2月18日開催)において、中央小学校で避難所開設訓練と要配慮者関連訓練(聴覚障害者・視覚障害者・外国人)同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。 通訳・翻訳ボランティアに登録している外国人市民に対しても災害時の外国人支援を目的とした講習会および訓練の周知を行いました。	B 概ね計画通り B 概ね計画通り	市民協働推進課と連携し、訓練を実施します。 大学を通して留学生に訓練の開催を周知します。また、通訳・翻訳ボランティアに登録する外国人市民数の増加を図り、災害時に支援活動ができる外国人市民を育成します。		
		2 防災意識の啓発	『防災ガイドブック』及び『水害ハザードマップ』の多言語化	避難場所や災害リスクを可視化した『防災ガイドブック』及び『水害ハザードマップ』を多言語で提供します。	拡充	危機管理防災課 市民協働推進課	多言語対応電子書籍「Catalog Pocket」(カタログポケット)により多言語の翻訳・読み上げに対応しています。 外国人転入者を対象としたウェルカムフォldグループに『防災ガイドブック』『水害ハザードマップ』の多言語版に関するチラシを同封し、配布しています。	A 計画通り A 計画通り	同システムを活用し、多言語での提供に努めます。 引き続き危機管理防災課と連携し、多言語版に関するチラシを配布します。	
				外国人市民向け防災事業の実施	地震や洪水等、日本の災害について外国人市民が事前に把握できるように、地域の防災教室・イベントでの防災啓発を検討します。	新規	危機管理防災課 市民協働推進課	おげおワールドフェア2022において上尾市防災士協議会によるイツモ防災講座を実施しました。 講習会や訓練に参加した外国人市民から災害に関する心配事などの聞き取りを行いました。また、防災士協議会と連携し、おげおワールドフェアにおいて防災に関するブースを設けました。	A 計画通り A 計画通り	上尾市防災士協議会と連携して啓発事業を実施してまいります。 聞き取った意見を踏まえ、外国人市民を対象とした事業やイベントの開催を検討します。
			防災訓練への外国人市民の参加促進	自治会や自主防災組織などと連携し、災害時に必要な知識を習得できる訓練への外国人市民の参加を促します。	危機管理防災課	新規	危機管理防災課	令和4年度上尾市災害対策本部訓練(令和5年2月18日開催)において、中央小学校で避難所開設訓練と要配慮者関連訓練(聴覚障害者・視覚障害者・外国人)同日・同時刻に開催し、避難所での受付方法について、合同で訓練を実施しました。	A 計画通り	自主防災会に対し、外国人市民の訓練参加について、協力を求めます。
					市民協働推進課	2月に開催された上尾市災害対策本部訓練に外国人避難者役として4名の外国人市民が参加しました。	B 概ね計画通り	一般参加者としても外国人市民が地域の訓練に参加できるよう周知方法等を検討します。		

「計画通り」27件、「概ね計画通り」26件、「要努力」2件

基本方針	施策	取組	内容	新規・継続区分	担当課	令和4年度実績、取組内容、課題	評価	令和5年度目標、方針
1 地域 経済 の 担 い 手	1 事業者への支援の充実	セミナーの開催や情報提供	在留資格制度や採用までの流れの説明を行うセミナーを開催します。また、国や県等からの情報を、必要に応じ各事業者へ提供します。	新規	商工課	・事業者に対し、人権や国籍等に配慮した取組について啓発を行う、企業人権問題講演会を開催しました。 ・県が実施した事業者向けの外国人留学生採用支援事業について、チラシを配布し、情報の提供を行いました。 ・チラシの配架（外国人留学生採用支援セミナー）	A 計画通り	引き続き、セミナーの開催をはじめ、国や県等からの情報を提供し、事業者への支援の充実を図ります。
		経営に関する相談対応	労務管理や人材教育の方法などをはじめ、企業の経営状態について調査・分析・アドバイス等を行います。	新規	商工課	【パイロット支援事業】 支援企業へ経験豊富な専門家（企業連携コーディネーター）を派遣し、当該企業が抱える課題解決に向けて2年間、無料で開催中の事業支援を実施しました。なお、令和4年度をもって事業終了となりました。 【中小企業サポート事業】 事業者が抱える経営課題や地域課題の解決に向けて、上尾中小企業サポートセンターに登録している中小企業診断士やITコーディネーター等の専門家が、企業を訪問して問題を把握しながら経営相談を行う伴走型支援を上尾商工会議所と連携して実施しました。	A 計画通り	引き続き、労務管理や人材教育の方法などをはじめ、企業の経営状態について調査・分析・アドバイス等を行います。
		介護事業所への支援	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、市が住居の紹介や生活に不可欠な備品等を支援します。	新規	高齢介護課	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等の貸付支援を行いました。	B 概ね計画通り	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等購入費の支援を行います。
	2 就労支援の充実	国や県等と連携した情報提供	求職者や留学生の国内就職支援をはじめとする情報を広く周知します。	新規	市民協働推進課	ハローコーナーニュースにハローワークの情報を掲載するとともにハローコーナーの相談員に対し、適宜就職に関する情報の提供をしました。	B 概ね計画通り	引き続き外国人市民に対し、就職に関する情報発信を行います。
		就労に関する相談対応及び関係機関との連携	市の相談窓口における対応のほか、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。	新規	商工課	県が実施した国内就職支援について、チラシの配架（グローバル人材向け就職面接会）	A 計画通り	引き続き、国や県等からの情報を、必要に応じ提供します。
		就労に関する相談対応及び関係機関との連携	市の相談窓口における対応のほか、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。	新規	商工課	上尾市ふるさとハローワークにて、若年者から高齢者等の就労支援、職業紹介、求人の受理、求人情報の提供等を実施しました。【開庁時間】月～金（祝日、年末年始除く）午前10時から午後5時まで【就職件数】790件	A 計画通り	引き続き、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。
2 地域 コミュニティ の 担 い 手	1 地域の担い手である外国人市民の活躍の促進	自治会・PTAへの外国人市民の加入と定着の促進	転入した外国人市民に対し、自治会への加入に繋がる仕掛けを検討します。また、PTAの役員の内について多言語化等を検討します。	新規	市民協働推進課	転入者に対し、自治会加入を促すチラシの多言語版をウエルカムフォルダーに同封して配布しました。また、同チラシを中に掲載するとともに希望のあった自治会に対しても配布をしています。	B 概ね計画通り	引き続きチラシの配布を行うとともに適宜翻訳ボランティア制度など自治会が利用できる多言語支援サービスについて周知します。
		外国人市民キーパーソンの発掘	地域の外国人市民コミュニティの中心となり、情報の周知等、市の多文化共生事業に協力できる人の発掘に取り組みます。	新規	市民協働推進課、AGA	ワールドフェア等で外国人コミュニティの情報収集を行いました。	B 概ね計画通り	引き続きイベントに参加する外国人市民等を通して情報収集をします。
3 多 文 化 共 生 の 担 い 手	1 多文化共生の担い手への支援と養成	上尾市国際交流協会（AGA）への支援	引き続き、財政的支援や、市庁・「広報あけお」への掲載等必要な支援を行います。	継続	市民協働推進課	補助金を交付するとともにイベント開催にかかる会場の確保や周知について支援を行いました。	A 計画通り	引き続き必要な支援を行います。
		各種ボランティアの新規登録の促進・養成及び連携	多文化共生ボランティアや通訳・翻訳ボランティアの新規登録者の呼びかけ、ボランティアを必要とする部署とボランティアの調整等を行います。	新規	市民協働推進課	押などでボランティア登録を呼びかけるとともに県主催の講習会で市のボランティア制度を紹介しました。他部署からの依頼に応じて、ボランティアの派遣を行いました。	A 計画通り	ボランティア制度の周知をし、登録者数の増加を図るとともに講習会や訓練を通してボランティアの育成を図ります。

「計画通り」6件、「概ね計画通り」4件、「要努力」0件

基本方針	施策	取組	内容	新規・継続区分	担当課	令和4年度実績、取組内容、課題	評価	令和5年度目標、方針
1 意識啓発	1 多文化共生についての意識啓発	小・中学校での国際理解教育に関する授業の充実	総合的な学習の時間に、地域に住む外国人市民の方を講師として国際理解教育に関する授業を行います。	継続	市民協働推進課 指導課	中学校1校に対し、グストティーチャー1名を派遣しました。 各校では、総合的な学習の時間、学活、道徳、外国語等の授業を通して「国際理解教育」の充実を図っています。外国人市民に対する人権教育や国際理解教育等の取組を行っています。	A 計画通り A 計画通り	引き続き学校からの依頼に応じて、グストティーチャーを派遣します。 学校を国際理解教育の大切な拠点として新たに位置付け、児童・生徒を核とした多文化共生社会の実現を目指します。
		海外ボランティアとの情報共有	海外各地に派遣されるJICAボランティアの活動や、海外の暮らしについて市庁等に広く市民に周知します。	継続	市民協働推進課	JICAボランティアの活動記録を市HPに掲載しました。	A 計画通り	引き続きJICAと情報共有を行い、市に縁のあるボランティアが派遣された際には、市HP等で周知します。
		「あけおほヒューマンライツミーティング」の開催	人権講座や、関係団体による交流事業を開催し、外国人の人権について理解を深める機会を提供します。	継続	人権男女共同参画課 AGA	令和4年12月3日(土)に「あけおほヒューマンライツミーティング」を開催し、その中で「AGA」ほか市内で活動する人権に関わる団体の交流ワークショップを実施しました。 ヒューマンライツミーティング内で外国人市民をゲストスピーカーとした講演を行いました。	A 計画通り A 計画通り	引き続き「あけおほヒューマンライツミーティング」等で外国人の人権について理解を深める機会を提供します。 引き続き外国人市民による講演を行います。
		多文化共生に関する情報の提供	企業を対象とした研修などの機会に、人権に関する講演等を通じて情報提供します。	継続	人権男女共同参画課 商工課	令和5年2月17日(金)に「企業人権問題講演会」を商工課と共催で開催し、企業における人権に関する取組などをテーマとして実施しました。 令和5年2月17日に、市内事業者を対象とした「企業における人権～一般の人権啓発活動～、公正な採用選考」の2つをテーマに、講演会を開催しました。【参加人数：28名】	A 計画通り A 計画通り	引き続き企業に対する多文化共生に関する情報提供を行います。 引き続き、企業を対象とした研修などの機会に、多文化共生意識の啓発を図ります。
		多文化共生に関する出前講座の実施	希望する市民、団体に対して市職員が多文化共生に関する出前講座を実施します。	新規	市民協働推進課	多文化共生に関する出前講座の登録を、市民や団体の希望に合わせて講座を実施できる環境を整えています。	A 計画通り	引き続き希望に応じて出前講座を実施します。
		活躍する外国人市民のPR	市内で様々な分野において活躍する外国人市民を、市HP等で紹介します。	新規	市民協働推進課	市HP上に「上田市で暮らす・働く外国人」というページ上で5名の市内外国人を紹介しています。	A 計画通り	引き続きページを公開するとともに新たに紹介できる外国人市民の情報を収集します。
		2 交流の促進	1 交流機会の提供	各種講座の開催	公民館を会場に、外国人市民を講師とした自文化の紹介に関する講座を実施します。	継続	市民協働推進課、AGA 生涯学習課	外国人市民を講師とし、自己紹介を行いAGAサロンを6月に開催しました。 外国人市民に聞かず、その国をよく知る講師から多文化共生を知るきっかけとなる講座や民俗音楽の演奏会を公民館で実施しました。【事業 延べ参加人数78人】
ALTの活用	外国語の授業にとどまらず、音楽や国語・総合的な学習の時間等においても児童・生徒がALTと触れ合い、国際感覚を身に付けられるように努めます。			継続	指導課	現在、市内小・中学校33校に対して36名のALTを配置し、外国語及び国際理解教育の充実を図っています。 外国人市民に係る授業だけでなく、他教科等での授業や教育活動において、ALTを積極的に活用するように学校に指導しています。	A 計画通り	ALTの活動内容をより充実させ、外国語や国際理解の教育をさらに推進させます。外国語の授業以外の授業や、給食、清掃等の場面においても、ALTと児童・生徒との触れ合いの場を増やすよう努めます。【ALTの活用率(授業準備除く)1校あたり70%】
中学生海外派遣研修の実施	本市と友好関係協定を結ぶオーストラリアのロッキャーバレー市へ、市内の各中学校から2名ずつ生徒を派遣します。			継続	指導課	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。 市内中学校各校(11校)でオーストラリアとのオンライン交流を実施しました。	B 概ね計画通り	4年ぶりに、本事業を再開します。市内の中学生2名をオーストラリアに派遣し、直接異文化に触れ、国際理解を深めます。帰国後は、体験発表を実施します。また、派遣生が帰国後、多文化共生推進のために活躍できる場を提供するなど、効果的な方法を研究します。
「あけおほワールドフェア」の充実	市内活動団体や海外ボランティア経験者・外国人市民が日本語スピーチや民芸品の販売等を行い、市民との交流を深めます。			継続	市民協働推進課、AGA	3年ぶりに「あけおほワールドフェア」を開催し、外国人市民と日本人市民の交流を深めることができました。	A 計画通り	開催時期を10月に戻し、「あけおほワールドフェア」を開催します。
ホームステイ受入事業の実施	埼玉県と国際交流基金日本国際センター等によるフナイトステイ事業に協力し、自宅に研修生を受け入れる日本人市民の登録者の受付、受入案内を行います。			継続	市民協働推進課	フナイトステイに4家庭、オンライン交流会に4家庭を案内しました。	A 計画通り	引き続き研修生の条件に合わせた受入家庭の紹介を行います。
SNSを活用した新たな交流の検討	SNSを活用し、外国人市民が情報交換できるプラットフォームの構築を検討します。			新規	市民協働推進課	外国人市民がよく使っているSNSやよく見る投稿内容などを調査しました。	C 要努力	市内外国人の状況を踏まえ、市民同士が情報交換できる手段を検討します。
3 地域活性化の推進	1 外国人による本市のPR			SNSを活用した魅力の発信	本市のイベント等を行う際に、SNSを活用した積極的な情報発信を促します。	新規	広報広聴課 市民協働推進課、AGA	外国人を活用した情報発信の手法について、市民協働推進課と調整を進めました。 外国人市民が上田市の魅力に関する情報を発信するためのハッシュタグを作成し、あけおほワールドフェアで周知しました。
		ALTによる魅力の発信	市内小中学校に勤務するALTと連携し、学校生活や日本での体験等を発信します。	新規	指導課	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、ALTが情報発信できる場を提供することができませんでした。	C 要努力	ALT派遣業者と連携し、ALTが学校生活や日本での体験等を踏まえて、本市や本市の学校教育の魅力等を発信できる場を提供できるよう、効果的な方法を研究します。

「計画通り」13件、「概ね計画通り」4件、「要努力」2件